

徳島大学にしあわ学舎の取組状況

事業のポイント

■ 県下24市町村との連携協定締結を契機に、今まで組織的な取組を行ってこなかった県西部(美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町)にサテライトオフィスを新設し、地域を支える人材の育成や課題解決等の事業を行う。

事業の概要

1. 事業の目的

徳島大学にしあわ学舎では、西部2市2町、徳島県、徳島大学教職員で構成する「徳島県西部地区地域づくり連絡会議」を設置し、サテライトが行う各種事業の計画・立案、その他連絡・調整等を行うこととしており、地域を支える人材を育成する「地域育成プログラム」と、地域課題の解決・改善に向けて検討する「課題解決プログラム」からなる「地域創生支援プロジェクト」を展開する。

2. 事業の取組状況

① まちしごとファクトリーの開催

徳島大学にしあわ学舎のプロジェクトとして、徳島大学と徳島新聞社による共催イベント「まちしごとファクトリー」を立ち上げた。平成27年度は、「オープニングフォーラム」、「スモールビジネス研究室」、「実践スモールビジネス開発室合宿」を開催した。

まちしごとファクトリーのオープニングフォーラム「「まちしごと」を創りだす 地域におけるスモールビジネスの可能性と実践」は、徳島大学タウンミーティングとして、平成27年7月5日(日)に、徳島大学にしあわ学舎および明治大学駿河台キャンパスで開催された。参加者は、徳島会場150名、東京会場30名。

「スモールビジネス研究室1 まちしごとを考える」は、平成27年8月28日(金)に開催した。参加者は39名。「スモールビジネス研究室2 スモールビジネスの可能性」は平成27年9月25日(金)に開催した。参加者は33名。「スモールビジネス研究室3 スモールビジネス開発室の足あと、そして未来へ」は平成28年3月5日(土)に開催予定である。開催場所はいずれも脇町劇場オデオン座。

「実践スモールビジネス開発室合宿1 まちを知る リソース&ニーズサーチ」は、平成27年11月14日(土)および15日(日)に開催した。「実践スモールビジネス開発室合宿2 しごとを考える 事業プラン構築」は平成27年12月12日(土)および13日(日)に開催した。「実践スモールビジネス開発室合宿3 しごとを創る プレ起業」は平成28年2月18日(木)から20日(土)にかけて開催予定である。参加者はいずれも5名。開催場所はいずれも三好市池田町内。

事業代表者・連絡先

吉田 敦也(地域創生センター・センター長)
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
tel / fax: 088-656-7651
e-mail: yoshida@tokushima-u.ac.jp

② 市民講座「にしあわ学びの郷」の開催

地方創生支援プロジェクトに係るフィールドワークの実施の成果を基にして、市民講座「にしあわ学びの郷」を3回開催した。「第1回 防災と地域づくり」は、つるぎ町半田日浦地域集会所にて、平成28年1月30日(土)に開催した。参加者は42名。本市民講座では、にし阿波エリアにおける地元住民主導の活動の情報共有・意見交換を行うことで、そのノウハウの享受や新たなネットワークづくりを支援し、他地域での応用可能性や今後の在り方について議論した。「第2回 地場食材の活用と地域づくり」および「第3回 廃校利用と地域づくり」は、それぞれにしあわ学舎および増川公民館にて、平成28年2月21日(日)および平成28年3月6日(日)に開催予定である。



にしあわ学びの郷 第1回 防災と地域づくり



スモールビジネス研究室

徳島大学・美波町地域づくりセンター

事業のポイント

■ 人口減少、津波防災などの課題を抱える美波町において、大学、地域行政、住民との連携を推進し、美波町における地域づくりをすすめることで、大学における地域貢献拠点としてのモデル発信を目指す。

事業の概要

1. 事業の目的

当センターは、2013年7月に、徳島大学と美波町との「持続可能なまちづくり」をテーマとした連携協定の活動拠点として、美波町役場由岐支所3階に開設した。徳島大学と美波町が連携し、知的・人的資源の活用と交流を図り、相互に協力して地域の発展と人材の育成に寄与する。

2. 事業の取組状況

① 研究員が駐在して参与型研究の実施

当センター事務室に研究員が駐在し、美波町由岐湾内地区における事前復興まちづくり計画立案の参与型分析を行っている。その途中経過をまとめた論文は、『2014年地域安全学会年間優秀論文賞』を受賞した。

② 持続可能なまちづくりに関するミニシンポジウムの開催

持続可能なまちづくりの啓発や交流を兼ねたミニシンポジウムを開催している。今年度は、美波町、美波町自主防災会連合会に協力して、「受援力と復興力を高める」をテーマにした防災講演会を2回開催した。

③ 視察研修および学生インターンシップの対応

当センターおよび美波町の先進的な取組を視察に来る全国の防災・まちづくり関係者(大学研究者、自治体職員、自主防災会等)の説明と質問に対応している。また、学生インターンシップの受け入れも行っており、今年度は2名の大学生を受け入れた。

④ 美波町の自主防災活動の支援

美波町自主防災会連合会および由岐湾内3地区自主防災会連合会の事務局支援を行っている。今年度は、美波町自主防災会連合会の県外視察研修、防災訓練、防災講演会の支援を行った。また由岐湾内3地区自主防災会連合会、美波町、徳島大学、公益社団法人徳島県建築士会が主催して、「由岐湾内地区住宅・住宅地コンペティション計画～事前復興まちづくり～」を開催した他、由岐湾内地区の事前復興まちづくり計画の素案を作成するための勉強会、ワークショップも開催した。

事業代表者・連絡先

山中 英生(地域創生センター・副センター長)
〒779-2103 徳島県海部郡美波町西の地字西地50-1
(美波町役場由岐支所3階)
tel / fax: 0884-70-1274
e-mail: tokushima-minami@tokushima-u.ac.jp

⑤ 地域防災についての「しゃべり場」の支援

美波町西の地防災きずな会によるコミュニティカフェ「まったりカフェみなみ」開設を支援した。カフェでは、避難などに手助けが必要なお年寄りと普段から顔を合わせ、お茶や食事を楽しみながら交流を深めており、徳島大学の学生ボランティアと共に運営の支援も行っている。

⑥ 小中学校での防災教育の支援

美波町内外の小中学校で防災教育の支援を行っている。その内、兵庫県等主催の平成27年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」において、徳島市立津田中学校が『ぼうさい大賞』、美波町立由岐小学校が『フロンティア賞』を受賞した。



住宅・住宅地コンペティション意見交換会



美波町のコミュニティカフェ



美波町立由岐小学校津波碑学習